

Vol.8

ベルギー



東嶋和子の Energy満タン! 世界紀行



Vol.8

ベルギー

東嶋和子 Wako Tojima

科学ジャーナリスト・青山学院大学非常勤講師

ビール、ワッフル、チョコレート。日本人の心をとらえてやまないベルギーの名品の数々です。なかでも飲兵衛の心を放さないのが、種類豊富で、それに専用のグラスがあるベルギービール。2009年、一種類でも多くのビールが飲みたい一心で、ベルギーへ飛びました。ビールに溺れつつ、かのエルキュール・ポアロゆかりの地をそぞろ歩き……と妄想したのですが、首都ブリュッセルでポアロの足跡を尋ねても、みな首を傾げるばかりでした。

アガサ・クリスティーが生んだ名探偵は、ベルギー人。フランス人に間違われたり、「よそ者」と邪険にされたり、気位の高い英國人にたびたび馬鹿にされます。そんなとき、彼は胸を張って宣言します。「私はベルギー人です！」と。クリスティーが英國人の世界観を揶揄しつつ、ベルギー愛をポアロに託した、と私は見ているのですが……。

ポアロはあきらめ、小便小僧を冷かし

に中心街へ。「ヨーロッパの十字路」といわれるベルギーの街並みには、多彩な歴史や文化が息づいています。グランプラスは、ジャン・コクトーが「絢爛たる劇場」と讃えた広場。商人たちが競って建てた華麗なギルドハウスを眺めつつ、ビールの杯を傾けます。ワッフルを頬張り、チョコレートをつまみ、食べ物横丁では名物のムール貝に、またビール。

運河に彩られたテーマパークのようなブルージュ、ベルギー第二の都市アントワープへも足を伸ばしました。ブルージュは織物の交易で栄えた街。港町アントワープは、世界のダイヤモンド原石が取引されるダイヤの街として知られます。

裏面に続く →



ムール貝とベルギービール♪



中世のテーマパークのようなブルージュ



ベルギーは、英國発の産業革命が最初に伝わったヨーロッパの国の一で、当時豊富だった鉄鉱石や石炭を使い、毛織物、鉄鋼、機械などの産業が発展しました。第二次大戦後、鉄鉱石や石炭が枯渇の途をたどると、原子力発電の導入を決めます。1985年までに7基の原子力発電所で電力の過半を担うようになりました。2012年の統計では、電力の51%を原子力が占め、次いで火力33%、再生可能エネルギー16%となっています。

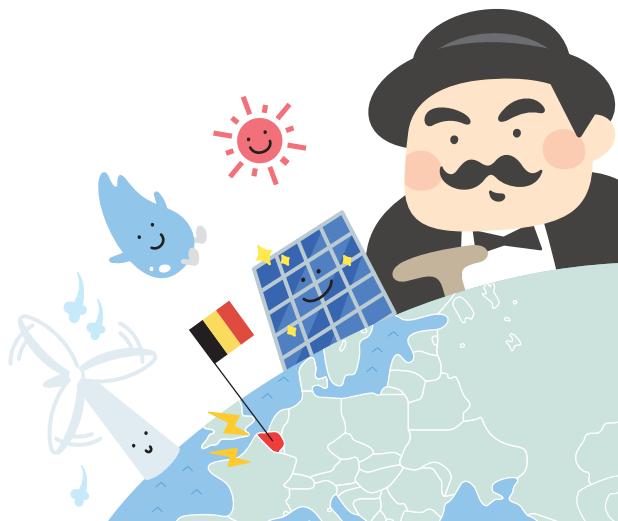
一方、北のフランドル地方と南のワロン地方は古くから犬猿の仲で、南北対立が政治に影を落としています。エネルギー政策も、連立政権の顔ぶれが変わるたびに揺れました。

2003年、緑の党を含む連立政権が2025年までに脱原子力を達成すると決定。原子炉7基の運転期間が原則40年に制限されました。しかし、原子力に代わる電源が確保できず、政府と発電事業者は2015年、運転開始後40年を経た3基を2025年まで10年継続運転することで合意しました。

その後、2020年に発足した連立政権は、2025年までに7基を閉鎖すると改めて合意しました。しかし、政府は今年3月18日、最も新しい2基（合計約200万kW）の運転期間を10年延長し、脱原子力の時期を10年繰り延べて2035年とする方針を公表したのです。デクロ一首相は、「地政学的に不穏な状況が続くなか、2基の運転継続と再生可能エネルギーへのシフトを加速することで、化石燃料発電から脱却していく」と強調しています。同時に、洋上風力や太陽光発電、水素製造、持続可能な輸送などへの投資を追加する考えを明らかにしました。

続いて5月24日には、次世代の小型モジュール炉研究の予算として、原子力研究センターに1億ユーロ（約136億円）を拠出すると表明しました。デクロ一首相は、研究によってベルギーは技術開発でリーダーとなり、化石燃料からの脱却も促進される、と期待を表明しました。工業立国ベルギーの気概と底力を垣間見たような気がします。

（2022年6月）



● 資料出典

Web原子力産業新聞 2022年1月19日、3月23日、4月22日、5月26日
『みんなの知らない世界の原子力』海外電力調査会編著、日本電気協会新聞部発行

PROFILE

東嶋和子 とうじまわこ／科学ジャーナリスト・青山学院大学非常勤講師

筑波大学卒。在学中、米国カンザス大学に文部省交換留学。読売新聞社科学部記者を経て独立。「いのち」をキーワードに科学と社会の関わりを追っている。主な著書に『水も過ぎれば毒になる 新・養生訓』『人体再生に挑む』『放射線利用の基礎知識』『死因事典』など。外務省外交フォーラム外務大臣賞、原子力学会社会・環境部会優秀活動賞受賞

ほくげんこん

北陸原子力懇談会

〒920-0918 金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F
TEL 076-222-6523 / FAX 076-222-8925
URL: <https://h-genkon.jp>



2022.6